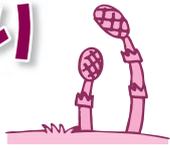


図書館だより

休館日…4日(木)、30日(火)、
毎週月曜日



★「子ども読書の日」記念

おはなしを楽しむ会

日時…27日(土) 14時～14時45分
会場…八日市場図書館2階集会所
対象…1人で静かにおはなしが聞ける4歳から小学校3年生くらいまでの児童
内容…大型絵本の読み聞かせ、パネルシアターほか
定員…70人 参加費…無料

★おはなし会(八日市場図書館)

6日、13日、20日(土) 14時から約30分間
☎八日市場図書館☎73-3746 (17時まで)

★ドリームキッズ(のさか図書館)

27日(土) 10時30分～
☎若林☎67-5965

寄付 (2万円以上)

●社会福祉協議会へ

日蓮宗千葉県東部宗務所様より
(災害救護積立金として) …5万円

東総藤丸会(代表・林信一)様より
…3万円



市政の窓 No.32



入学式には桜が一番似合う風景であります。桜の開花は例年よりも10日早く、今年の入学シーズンは少し気になるところであります。誰もが春のシンボルである桜を楽しみにしており、私も数年前までは花見ゴルフを楽しんでおりました。ゴルフは約1か月前から予定を立てますので、開花予想はなかなか難しく当たり外れがあったものです。近年の天気予報は、まず外れ

市政運営 ラストスパート

選抜高校野球が春を呼ぶといわれておりますが、今年も初夏のような陽気の中で試合かと思われ、私も例年より早く春の支度に切り替えました。熱く勢いを感じるのは、政治・経済面においても同様です。

6年前の総理と今回政権交代後の安倍総理の自信みなぎる言動は、まるで別人のように感じられます。アベノミクスの影響により、本市でも昨年度末の大規模補正による事業の拡大、また、本年度当初予算は過去最大の規模としたところであり、24年度の繰越事業なども考えると、逆に不安になるほどの状況ですが、計画通り事業を執行できよう邁進してまいります。

私も市長就任4年目に当たります。ラストスパートの年として全力で市政運営に取り組んでまいります。

匝瑳市長 太田安規

文芸コーナー

短歌

土屋 耕一 推薦

目覚むれば山裾流るるせせらぎに燃ゆる紅葉をしばし眺むる
高 石井 房代

心残りはないものか雛の夜に九十九の義兄は逝く
荻野 川口 登喜

房総にまぶしく光る寒の雪月下美人は重さに耐ゆる
内山 林 恒雄

九十九里は津波被害の空地でも芽ぶく雑草春を知らしむ
山崎 依知川雅一

体罰と愛のムチとの差はいかに我子を思いて手を上げし過去
堀川 山本 伸子

久々に遠来の客と孫四人炬燵に入りかすかに寝息
八日市場イ 川手 芳

皆々の心に宿る恩人の梅はほのかに泌みて香れる
新 越川 玉恵

春蒔の色鮮やかな種袋見るのみに過ぐ老いたるわれは
川口 城司 推薦

弁財天にて清めしといふ五門玉恵方巻二本の景品に貫ひぬ
栢田 渡辺 重雄

山茶花の重なる紅の花分けて雀顔出すあたたかき陽に
野手 石田 秀子

この子猫抱っこに負んぶせがむらし抱けば頬ずり思はず笑ふ
野手 佐藤 晃子

今泉 小川みさ子

俳句

西野 棠雨 推薦

身を細め吊橋渡る木の芽風
上谷中 八木佐久司

わが影を踏んで歩むも臍かな
春海 浜野 隆志

お大師まいり

登戸を歩く

匝瑳 探訪

- 83 -



渡辺さん宅に保管されている弘法大師像

春の風物詩とされるお大師まいり(遍路)の季節となりました。

4月5日から13日までの9日間、旭市と市内にまたがる八十八か所のお寺を巡る「お大師まいり」が行われます。

お大師とは真言宗を開いた弘法大師空海のこと、この地域の巡礼ではお箱と呼ばれる笈(厨子ともいう)に納め

られた高さ60cmほどの弘法大師の木像が背負われ寺を巡ります。

この大師像は、登戸区の渡辺洪介さん宅に保管されています。同家に伝わる言い伝えでは、先祖が四国遍路に出かけ、願いがかなった1860年に第三十三番札所雪隠寺からもたらされたものだとい

ます。十数年前、渡辺さんが四国遍路で同寺を訪ねた時にもそれを裏付けるような言い伝えを聞くことができました。

このお大師まいりは、1785年に野中(旭市)長禪寺住職が下総の香取・海上・匝瑳の3郡と上総国山武郡を四国になぞらえたことが起源とされています。これと関連するのか、大浦(匝瑳地区)蓮花寺には、同寺が「四国八十八ヶ所八十四番屋島寺」と門柱に刻まれ

ています。また、新(豊栄地区)では、1820年秋からおよそ8か月をかけ、四国遍路を行った人の納経帳が伝わっています。

お大師まいりはその後の変遷で、長禪寺の遍照講と八日市場・福善寺の海徳講が年ごとに結願寺となりました。寺や集落のお堂の前では、一行をもてなす「お接待」も行われます。

江戸時代の登戸村は、1843年ごろの家数12軒の小さな規模ながら、1718年に「登戸村」の講中で庚申塔を建て、1751年には村の男女が「十九夜塔」を、1813年に「子安大明神」をまつりました。

地域のまとまった活動は平成の今日まで続き、同11年には新たに「登戸神社」をまつりました。神社の由緒に「登戸区には神社がなく、三社神社(東小笹区)の氏子であった。登戸区は大字なるが故に区としての神社を持つことが区民の願いであった」と刻まれ、地域に根付いた意識が感じられます。

(元)市職員・依知川雅二

問 秘書課広報広聴班

☎ 73・0080

東京へつながるレール地虫出づ
花衣ほのかに乳の匂ひせり
三寒に耐えし四温の大欠伸
陽の匂ひ土の匂ひの目永かな
無為といふ安らぎにをりつくづくし
春障子夫が開ければ夫の音

八日市場イ 菅谷たけし
八日市場ハ 大川 宣子
蕪里 山崎 伸
登戸 伊藤 さく
内山 椿 和枝
上谷中 太田三樹夫

川口 城司 推薦

春疾風砂塵は海を覆ひけり
柚子の香の漬物うまし朝の膳
ふる里より届く絆の高菜漬

栢田 伊藤 定子
栢田 加瀬 潔子
今泉 野仲 妙子

川柳

高梨 果宝 推薦

ゆとり出来湯治の宿で苦も流す
卒寿坂やと心に余裕もち
勤勉に生きて老後にあるゆとり
目覚め良く食も動きも満ち足りる
ゆとりある余生に浸る湯治宿
余裕ある時間を友とボランティア
土筆摘む母子が笑う春の空
人生の終りを悟る昨日今日

長谷 石毛惣一郎
八日市場ホ 鎌形ミツエ
木積 佐久間美智子
飯塚 鈴木ツネ子
八日市場イ 常世田やす子
八日市場ホ 菱木 静枝
春海 久米 喃喋
八日市場イ 鈴木十世志

川口 城司 推薦

友情のこもりし電話涙する
川辺 加瀬きよ子

あて先：匝瑳市秘書課広報広聴班

〒289-2198

匝瑳市八日市場ハ793番地2

☎ 73・0080 FAX 72・1114